

南部 鞆エリア

瀬戸内海の中心に位置する鞆の浦は、万葉集にも詠われた潮待ちの港として発展しました。南北朝時代には争乱の場として、江戸時代には朝鮮通信使が立ち寄る港として、数多くの歴史上の人物が鞆の浦に立ち寄っています。古い町並みや数多くの寺社が残り、福山市内で最も重要文化財建造物が残るエリアです。



鞆公園



201 福山市鞆町伝統的建造物群保存地区



指定種別：市保存地区
 所在地：鞆町
 見学情報
 町並み散策では、交通に気をつけてください。

鞆町は、古くから海上交通の要衝であり、「潮待ち・風待ち」の港として、万葉の時代から栄えていました。保存地区には、江戸時代から昭和の戦前にかけて建てられた優れた意匠の町家が多く存在します。港湾施設の常夜燈、石段状の船着場である雁木（がんぎ）など歴史的景観を演出するものも多く残されており、港町として盛えた歴史的な町並みを形成しています。

202 沼名前神社能舞台



指定種別：国重要文化財
所在地：鞆町 沼名前神社
見学情報 **P WC**
能舞台は覆いの板で囲まれているが、神能祭などでは外します。

当初は伏見城内にあった能舞台を水野勝成が伏見櫓などとともに拝領して福山城に移築し、鞆で産まれた三代の勝貞が当社に寄進した後に固定化されました。当初は簡単に分解・組立ができる「移動式」で、豊臣秀吉が各戦場へも運べるように造ったと伝えられています。この組立式の能舞台は国内唯一で、今もそれを示す天井の組パネルなどを見ることができます。

203 沼名前神社鳥居



指定種別：県重要文化財
所在地：鞆町 沼名前神社
見学情報 **P WC**
この鳥居は二の鳥居とも呼ばれ、手前には一の鳥居もあります。

1625（寛永2）年、福山二代藩主の水野勝重が、武運長久などを願って寄進したものです。笠木の先端の上に鳥袂（とりびすま）を載せた特異なもので、鳥が止まっているように見える極めて珍しい様式です。左の柱に「大工 肥前之住人 中島弥兵衛」、右の柱に「大工 豫州之住人 左兵衛尉」と刻まれており、わざわざ肥前（佐賀）と豫州（愛媛）の名工に合作させたものです。

204 沼名前神社石とうろう



指定種別：市重要文化財
所在地：鞆町 沼名前神社
見学情報 **P WC**
この境内は、多彩な石造物の宝庫です。

「鞆殿」とも呼ばれた福山三代藩主の水野勝貞が、1651（慶安4）年、社殿前に一対で寄進したものです。六角の台座の上に竿石を建て、大型で荘重な造りです。火袋の窓は、日月などの意匠が配されています。刻銘には「…不盡乾坤灯外灯 無邊風月眼中眼 慶安四年…」とあり、寄進年とともに唐の詩人・杜牧の詩の一節が風流に記されています。

205 鞆ノ津の力石



指定種別：市有形民俗文化財
所在地：鞆町 沼名前神社・住吉神社
見学情報
鞆の浦歴史民俗資料館でも1個（沼名前神社蔵）、展示されています。

港町・鞆では、荷役作業に従事した仲仕などが祭礼の場で力石を使って力比べをし、持ち上げた人の名前などをその石へ刻み、神社に奉納しました。力士のしこ名や地名もみえ、重たいものは230kg、江戸時代後期の年号が記されたものは5個あります。現在、沼名前神社に20個、鞆港の住吉神社に3個、奉納されており、当時のにぎわいをうかがうことができます。

206・207・208

備後安国寺／安国寺釈迦堂附柱聯1双／安国寺のソテツ

指定種別：県史跡／国重要文化財／県天然記念物
所在地：鞆町

見学情報 **P WC**

開門時間／8:00～17:00(冬季8:30～16:30)、拝観料／大人150円、学生（高校生以上）100円、団体（30人以上）100円



備後安国寺は1339（暦応2）年に創建され、一時衰退しましたが、1599（慶長4）年安国寺恵瓊（あんこくじえいけい）によって再興されました。1273（文永10）年創建の金宝寺が前身とされ、国重文の釈迦堂は鎌倉時代の仏殿の姿を留めており、重文の木造阿弥陀如来及び両脇侍立像などが安置されています。

境内一帯は、備後安国寺として県史跡に指定されています。室町幕府が国ごとに交通・政治・軍事の中心地に安国寺を整えるなかで、要衝地であり、足利尊氏と因縁のあった鞆が選ばれました。境内には室町時代に作庭された枯山水が今も伝わっており、鶴島や亀島も配されています。ソテツは恵瓊による修築の際に植えられたと伝えられ、かつては2株で、県内有数の大木として県の天然記念物に指定されましたが、白蟻と台風により倒れ、その根株から伸びた葉茎が昔日の面影を留めています。

209 石造地藏菩薩坐像



指定種別：国重要美術品
所在地：鞆町 安国寺

安国寺前の地蔵堂内にあります。舟形光背を背負う丸彫りの石像が蓮華座に載っています。光背裏面に、「1330（元徳二）年 庚午卯月廿三日 願主藤原貞氏」の銘があります。像は簡素古拙で、地蔵菩薩の慈悲慈相を湛え、鎌倉時代の石仏としての風格を備えた優作です。県内の石仏で銘のあるものとしては、3番目に古い貴重な鎌倉時代の作例です。

210 朝鮮通信使遺跡 鞆福禅寺境内



指定種別：国史跡
所在地：鞆町 福禅寺境内
見学情報
開門時間／8:00～17:00
拝観料 200 円

江戸時代、将軍の交代時などに外交使節として来日した朝鮮通信使は、鞆に船中・宿泊等を含め11往復寄港しました。この際に、福禅寺の本堂の客殿が、正使・副使・従事官の宿所に当てられました。この客殿は元禄年間(1688～1703)の創建と伝えられ、弁天島・仙酔島などの景勝をめぐる絶好の立地にあります。この絶景を前に、1711(正徳元)年、従事官の李邦彦は「日東第一形勝」の大毫を残しました。また1748(延享5)年には正使・洪啓禧が、客殿を「対潮楼(たいちょうろう)」と命名し、その息子の洪景海が書にしたため、藩主の阿部正福が扁額に仕立て、今でもこの座敷に掲げられ光彩を放っています。この他、対潮楼内には、通信使の墨蹟を木額にしたものが数多く飾られており、朝鮮通信使の博物館といえます。

また2015(平成27)年3月25日に、同時に伝来する「日東第一形勝」などの墨書28点が「福禅寺対潮楼朝鮮通信使関係史料」として福山市重要文化財に指定されています。



紙本墨書「日東第一形勝」

211・212・213

太田家住宅／太田家住宅朝宗亭／鞆七卿落遺跡

指定種別：国重要文化財／国重要文化財／県史跡

所在地：福山市鞆町鞆

見学情報 太田家住宅朝宗亭の内部見学はできません。

太田家住宅、開場時間／10:00～16:30、休館日／火曜日(祝日の場合翌日)・年末年始(12/29～1/3)、入場料 400 円



江戸中期から明治にかけ、保命酒の醸造販売で栄えた商家(中村家)の遺構です。四方を道路に囲まれた広い敷地に、主屋(しゅおく)を中核に附属建物8棟が並び建ち、建築年代は18世紀中期の主屋から19世紀の新蔵に及びます。1996(平成8)年から約6年をかけて、江戸時代末期から明治時代初期の姿に復元され、鞆の歴史的町並みの中心をなしています。

朝宗亭は通りを挟んで建つ「太田家住宅」の別宅で、藩主の御成りに使われ、格式をそなえた造りのよい町家です。鞆港に面し海上からの利便性も備え、江戸時代後期には本陣として、大名や都を追われた7人の公家(七卿)も立ち寄り、迎賓館の役割を果たしました。七卿が立ち寄った中村家は、明治期に太田家に引き継がれました。こうした歴史的背景から「太田家住宅」「太田家住宅朝宗亭」は、鞆七卿落遺跡の名を残しています。

214 いろは丸展示館



登録種別：国登録有形文化財
所在地：鞆町鞆
見学情報
休館日／12/28～1/1
開館時間／10:00～17:00
入場料／小学生以上200円(150円)
※()内は30名以上の団体(小学生100円、引率者無料)

鞆のシンボル「常夜燈」の手前、雁木の正面に建つ「大蔵」と呼ばれる土蔵を利用しています。この土蔵は江戸後期(文化年間)の建築であり、港町として繁栄した鞆の往時を偲ばせる、ひときわ目立つ建物です。1867(慶応3)年、鞆の浦沖で沈んだ海援隊の乗船していた「いろは丸」の引き上げ品、関連資料などが展示されています。2階には、坂本龍馬の隠れ部屋も再現されています。

215 岡本家長屋門



指定種別：市重要文化財
所在地：鞆町鞆

旧福山城郭内に所在した長屋門です。廃城の後、民間への払い下げで、明治初期に現在地へ移築されました。部分的に改造が見られますが、17世紀初期建造の福山城郭内の遺構として貴重なものです。入母屋造、本瓦葺で、門の両側に番所を有していたものですが、現在は左側のみにあります。鞆の歴史的町並みによく調和し、商家として使用されています。

216 鞆の津の商家



指定種別：市重要文化財
所在地：鞆町鞆
見学情報
開館時間／10:00～16:00
開館日／土、日曜日、祝日のみ
公開・年末年始は休館、無料

主屋(切妻、平入)と土蔵(切妻、妻入)からなり、2階建本瓦葺で接続しています。主屋は江戸時代末期の建築で、出格子(でごうし)や入り口には跳ね上げ式の大戸があり、通り庭(通り土間)に面して、店の間・中の間・奥の間が並ぶ古い商家の典型的な間取りです。土蔵は明治時代に他所から移築したもので、黒漆喰の壁には虫籠窓(むしこまど)が見られます。

217 鞆城跡



指定種別：市史跡
所在地：鞆町

鞆城跡は、町の中央部で港を見下す孤丘に位置しています。毛利元就の命により、渡辺氏が、1553(天文22)年前身となる鞆要害を築きました。毛利輝元は、京都を追われた足利義昭を1576(天正4)年鞆に迎え、居館を作り鞆幕府とも呼ばれました。1600(慶長5)年に入封した福島正則が三層の天守を築いて城郭を整えましたが、一国一城令以前の1609(慶長14)年に廃城となっています。現在は、石垣等が当時の様子を物語っています。

218 大可島城跡 附 伝桑原一族墓地



指定種別：市史跡

所在地：鞆町

ここは南北朝時代、戦争奪の古戦場で、現在は陸続きとなり円福寺が建てられています。かつては島であり、大可島城がありました。1342（康永元）年燧灘（ひうちなだ）の合戦が勃発、伊予の南朝軍は鞆の大可島を占領、ここに拠点構えました。北朝軍は小松寺に陣を構え、激戦に及びました。南朝軍は備後服部より出た桑原重信を残し引き上げ、北朝軍は桑原氏を滅ぼし、大可島は再び北朝側に帰しました。これがいわゆる「鞆の合戦」です。城地にある石塔は桑原一族の墓と伝えられています。

219 平賀源内生祠



指定種別：県史跡

所在地：鞆町

江戸時代の蘭学者平賀源内は、高松藩薬用方出身でエレキテル・寒暖計の発明、陶器や西洋画の普及など広い分野で活躍しました。源内は長崎よりの帰途 1752（宝暦2）年鞆の溝川家に寄寓中、医王寺の参道近くで陶土を発見し、源内焼の製法を伝え、「土の神・竈の神・平賀源内大明神」を「三宝荒神」として祀るよう言い残していったといわれています。生祠は、溝川家が1764（宝暦14）年に祀ったものです。

220 南禅坊



登録種別：国登録有形文化財

登録建造物：本堂・山門

所在地：鞆町

浄土真宗本願寺派の寺院で、1748（延享5）年、朝鮮通信使（第10回）の学士・書記と福山藩の学者伊藤大佐が当寺で接会し、漢詩文を唱和するなど江戸時代を通じて朝鮮通信使の宿舎として使われました。本堂は、1860（万延元）年再建。内陣や要所に組物や豪華な彫刻を多用しており、幕末以降に流行した真宗本堂の特徴を示しています。山門は、火灯笼や円窓軒を配し、軒先に反りを持たせた異国情趣を漂わせる鐘楼門。上層の懸魚に1810（文化7）年の墨書があり第12回通信使の来日予定に備えて増築されたことが考えられます。

221 弁天島塔婆（九層石塔婆）



指定種別：県重要文化財

所在地：鞆町 弁天島

見学情報

仙酔島への渡船の途中で、少し見ることもできます。

鞆の海に浮かぶ弁天島の石塔婆の現状は九層ですが、もとは十一層の石塔婆で、第五層と第六層が欠失しています。初重軸部に「文永八年（1271）」などの紀年銘が記されています。鎌倉時代の形式と手法の特色を備えた優れた作品で、県内にある在銘の石塔の中では、最古のものであります。

222・223 仙酔島の海食洞／仙酔層と岩脈

指定種別：県天然記念物／県天然記念物

所在地：鞆町 仙酔島／鞆町 仙酔島

見学情報

仙酔島へは渡船で約5分です。（有料）



海食洞は、波浪の浸食作用によってできたもので、大小あわせて約200個に達し、いくつかは洞門を形成しています。海食洞の多くは、現海面の最高潮位より2～3m高い位置にあり、海食洞形成後の水位の変化を示すもので、地球の一変動過程を示す証拠として貴重なものです。

仙酔島の地質は、主として今から1億数千万年前の中生代白亜紀に噴出した流紋岩および流紋岩質凝灰岩により構成され、これらを仙酔岩体とよんでいます。この岩体を基盤に厚さ15mにわたって頁岩（けつがん）、凝灰岩質砂岩などの互層による堆積岩（仙酔層）がみられ、その上部は再び仙酔岩体となっています。これは、火山活動による仙酔岩体の形成過程で活動休止期があり、その間に仙酔層が堆積したことを示しています。

224 鞆公園



指定種別：国名勝

所在地：鞆町・沼隈町

仙酔島をはじめ、つつじ島・弁天島・玉津島など大小の島々が浮かび、瀬戸内海の中でもとりわけ美しい鞆周辺が、1925（大正14）年名勝「鞆公園」に指定されました。この島々のほか、沼隈半島の南端にある、けわしい海食崖の阿伏兎岬（沼隈町）の奇勝も含まれています。また、この9年後、鞆の浦をはじめとする瀬戸内海は、わが国最初の国立公園として指定されました。

225 福山市鞆の浦歴史民俗資料館



所在地：鞆町後地 536-1

見学情報 P WC ♿

開館時間／9:00～17:00（入館は16:30まで）、休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）・12/29～1/3・臨休有、入館料／150円（120円）、※（ ）内は20名以上の団体、高校生まで無料、☎(084)982-1121

鞆の浦歴史民俗資料館は、市制70周年の記念事業として、鞆城跡の高台に建設されました。館内には、古代から近世にいたる歴史資料、お手火神事やお弓神事などに関する民俗資料などが常設展示され、「潮待ちの館」の愛称で親しまれています。また、特別展や企画展では、鞆の浦を中心にした瀬戸内の歴史・文化・民俗をテーマに、特色ある展示会が開催されています。館内の見学とともに、鞆城跡からの眺望も併せてお楽しみください。